

令和5年度第1回狛江市基本計画推進委員会 会議録

- 1 日 時 令和5年6月30日（金）午後7時00分～午後8時14分
- 2 場 所 狛江市役所 特別会議室
- 3 出席者 委員長 福島 康仁 副委員長 上田 英司
委 員 村上 裕章 委 員 河内 広樹
委 員 佐藤 淳哉 委 員 名古屋 信夫
委 員 水谷 成江 委 員 高橋 良典
事務局 富田政策室長 中村企画調整担当主査
宇野企画調整担当主任
- 4 欠席者 委 員 佐藤 慶
- 5 議 事 1 開会
(1) 企画財政部長挨拶
(2) 委嘱状の交付
(3) 委員長及び副委員長の選出
(4) 諮問
2 令和5年度 狛江市基本計画推進委員会の進め方について
3 評価対象施策の選定について
4 その他

6 会議概要

1 開会

(1) 企画財政部長挨拶

—企画財政部長より挨拶—

(2) 委嘱状の交付

—委嘱状机上交付—

(3) 委員長及び副委員長の選出

本委員会は、今回の会議が初回であることから、委員の互選により委員長に福島委員、副委員長に上田委員を選出。

(4) 諮問

—書面にて福島委員長に諮問—

2 令和5年度 狛江市基本計画推進委員会の進め方について

—事務局から説明—

3 評価施策の選定について
—事務局から説明—

【委員長】

事務局の説明に対する御意見等あるか。

【委員】

資料7は昨年度の提言書であり、今回の委員会では令和5年度の提言書を作成するという事か。

【事務局】

お見込みのとおり。

【委員】

施策評価の視点について、市民参加・市民協働の視点、狛江らしさの視点、経営的な視点、SDGsの視点の4つの視点が資料2で示されているが、個人的見解に基づき評価を行うということによろしいか。

【事務局】

施策評価の視点については、具体的な数値等を設けているわけではなく、この4つの視点に基づき施策が取り組まれているかどうかを評価していただきたい。

【委員】

狛江らしさの視点について、説明していただきたい。

【事務局】

市域の狭さを活かしたコンパクトシティの強みや多摩川や野川等の水と緑を活かした施策の取組がなされているか等の視点で評価をしていただきたい。

【委員】

経営的な視点について、最少経費・最大効果の確認ができる資料の提供が今回の会議においてないように思われるが説明していただきたい。

【事務局】

資料4において施策に対する市民の満足度・期待値を記載している。また、今後、評価対象施策の取組状況の経年変化や決算を記載した施策評価シートの提供を予定しており、その資料において確認をしていただきたい。

【委員】

今後、提供される施策評価シートは、評価対象施策毎に作成され、その中に経費が確認できる項目があるという認識でよいか。

【事務局】

施策評価シートだけでは確認できない点もあると思われるので、必要に応じて担当課に資料請求を行い、その資料を参考に施策評価をしていただきたい。

【委員】

承知した。

【事務局】

資料を御覧いただき昨年度評価を実施した4施策を除き、3施策を選定いただきたい。

【委員長】

市民アンケート結果における市民の市の施策に対する期待や満足度等を参考に評価対象施策を選定していただきたい。

【副委員長】

先日の強盗事件を受けて、地域の防犯体制の充実について市民の関心が高まっている。まちの姿2施策2-②方向性2地域の防犯体制の充実を評価対象施策としてはどうか。

【委員】

評価対象施策は、資料4記載のAグループから選定したほうがよいのか。

【委員長】

Aグループだけではなく、B、Cグループからも選定していただきたい。

【副委員長】

昨年度もB、Cグループからも選定を行っており、各委員からの問題意識に基づき選定を行っている。

【委員】

地域活動を行っているので、まちの姿3施策3-②方向性1地域コミュニティ活動の活性化の施策評価を行いたい。

【委員長】

今、提案のあった、まちの姿3施策3-②方向性1地域コミュニティ活動の活性化の施策は、市民の関心、満足度ともに真ん中程度である。委員としても評価をしやすいのでは。

【副委員長】

Aグループの中で過去に評価を行っていない施策は、防犯体制の充実、子どもの居場所作り、高齢者の支援となる。子どもの居場所作り、高齢者の支援は両方とも人に関する施策であり、両方の施策を評価すると人に関する施策が多くなってしまうので、どちらかを評価するのが良いのではないかと。

【委員】

過去に子どもに関する施策の評価を行っているので、バランス的に高齢者に関する施策を評価したほうが良いのではないかと。

【委員】

子どもに関する施策、高齢者に関する施策どちらも重要な施策ではあるが、前回

までで子ども関係の施策評価を行っているので、今回は高齢者の支援の評価の方がよいのでは。

【委員長】

それでは、令和5年度狛江市基本計画推進委員会で評価する施策は、まちの姿2 施策2-②方向性2 地域の防犯体制の充実、まちの姿3 施策3-②方向性1 地域コミュニティ活動の活性化、まちの姿5 施策5-③方向性2 地域で暮らすための生活支援の3つとしてよろしいか。

《各委員了承》

【事務局】

今後の評価の順番については、取組内容のバランスを考慮しながら委員長及び事務局一任でお願いしたい。

4 その他

次回の開催日は、後日、日程調整を行い決定としたい。

次回より評価対象施策の資料を御確認いただき、実際の評価を進めていただく。